

小田急プロジェクト あったかサークルひまわりプロデュース～あったか交流会～

あったかサークルひまわりはボランティアセンターの小田急プロジェクトにより、2008年1月に立ち上がったばかりの新しい団体です。小田急分譲地で主にデイサービスや茶話会、公園清掃の手伝いをしています。小田急分譲地とは明治学院大学の横浜校舎北門を出たところに広がっている住宅地で2000人以上の方が暮らしている場所です。

私たちはこれまでボラチャレ企画として「あったか交流会」というものを実施してきました。明治学院の学生は地域の方の協力のおかげで快適な学生生活を送ることができています。交流会を通し、地域の方にその感謝の気持ちを伝え、一緒に楽しい時間を過ごすことで学生を身近な存在に感じてもらいたいと考えています。学生と地域の方が実際に出会い、話すことによって、双方にとって住みやすい地域とはどういうものなのか考える機会になればよいと思い企画しました。交流会の活動として、夏にはサロンすみれという茶話会の中で「朗読会¹」、「思い出アルバム²」、しあわせの会というミニデイサービスの中で「明学ここどこ！？絵合わせゲーム³」をおこないました。現在は小田急分譲地の住民の方を横浜校舎内にあるMGカフェに招待して茶話会を開く計画を立てています。大学は住民の方にとってなかなか関わる機会がないため、「近くて遠い存在」なのではないでしょうか。みなさんを招待することで大学は学生だけでなく、住民の方も安心して活用できる場所だと感じていただき、もっと気軽に足を運んでもらえるようになればよいと思います。そして、大学が地域と学生を繋ぐ場所になることを願っています。その一歩として、学生が地域の方を大学へ案内する取り組みを始めています。これまで私たちは地域の方と打ちとけること、明学生に横浜校舎周辺の地域について知ってもらうことなどを目指してきました。現在は地域の方との繋がりができたことにより、夏祭りへの参加など活動の幅を広げることができました。また、ブログの作成や活動記録やチラシのボラセンへの設置、説明会の開催を通して学内で存在感をアップさせることもできました。企画を始動した頃は地域の方対象の大きなイベントを実施することばかりを考えていましたが、私たちが活動している場所は地域の方にとっての「生活の場」であり、それまで築かれてきた雰囲気を壊すことなく、地道で継続的な取り組みをしていくことが大切だと学びました。今後はもっと多くの学生に活動に参加してもらい、明学生と地域の繋がりを保っていくこと、地域の方と学生と一緒に楽しめる活動していくことを目標としていきたいです。これからも地域の特性を活かし、学生ならではのボランティアを展開していきたいと思います。

(社会学部社会福祉学科3年 梅澤由佳里)

¹私たちの選んだ詩を利用者の方と一緒に朗読。

²学生が参加した地域の夏祭りやミニサービスなどの様子を写真で紹介

³神経衰弱ゲームを通して大学のことを紹介